

令和6年度 第1回 高知支部評議会

# 令和5年度 支部保険者機能強化予算の 執行状況について

令和6年7月9日

## 目次

支部保険者機能強化予算の概要	1
I) 医療費適正化対策経費 (1～3)	2
II) 広報・意見発信経費 (4～7)	3～4
III) 特別枠 (8)	5
IV) 健診経費 (9～17)	6～8
V) 保健指導経費 (18～26)	9～10
VI) 重症化予防事業経費 (27～29)	11
VII) コラボヘルス事業経費 (30～32)	12
VIII) その他の経費 (33～34)	13
IX) 特別枠 (35～37)	14

※カッコ内の数字は項番

# 支部保険者機能強化予算の概要

## ◀予算体系▶

協会の予算（業務経費等の事務費）は、ジェネリック医薬品の軽減額通知や健診費用の補助等の費用に充てる本部で扱う予算のほか、支部で扱う予算がある。この支部で扱う予算については、以下の3つに大別できる。

- ① 審査医師への謝金や支部事務室賃料など、支部の基本的な業務運営に必要な予算（基礎的業務関係予算）
- ② 医療費適正化対策や広報・意見発信など、地域の実情等を踏まえた取組みを推進するために必要な予算（医療費適正化等予算）
- ③ 受診勧奨対策や重症化予防対策など、保健事業における重点的な取組みを推進するために必要な予算（保健事業予算）

このうち、②及び③の予算については、「支部保険者機能強化予算」として、協会の将来的な医療費の節減につなげていくことを目的に、医療費適正化や健康づくり等の保険者機能を強化する取組みを実施する場合に予算計上する経費となる。

## ◀特別枠▶

- ・令和5年度から、保険者機能強化予算の取組に意欲的な支部に対し、通常の予算に追加して予算措置を行う「特別枠」制度が新たに創設された。
- ・これまでの取組等を通じて洗い出された課題など、エビデンスを踏まえた支部の課題解決に向けた取組であり、かつ医療費適正化または加入者の健康増進に資する取組を対象とする。

予算区分		分野	項番	令和5年度 高知支部予算額	令和5年度 高知支部執行額
支部医療費適正化等予算	医療費適正化対策や広報・意見発信など、地域の実情等を踏まえた取組みを推進するために必要な経費	I) 医療費適正化対策経費	1~3	11,675 千円	10,508 千円
		II) 広報・意見発信経費	4~7		
		III) <b>特別枠</b>	8		
支部保健事業予算	受診勧奨対策や重症化予防対策など、保健事業における重点的な取組みを推進するために必要な経費	IV) 健診経費	9~17	33,350 千円	22,840 千円
		V) 保健指導経費	18~26		
		VI) 重症化予防事業経費	27~29		
		VII) コラボヘルス事業経費	30~32		
		VIII) その他の経費	33~34		
		IX) <b>特別枠</b>	35~37		

# 令和5年度 高知支部 医療費適正等予算

## I) 医療費適正化対策経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
1	新規	【企画総務G】 新生児のいる家庭に対する医療費適正化啓発	乳幼児から若年層のジェネリック使用割合は全国平均より約10%も低い。また、未就学児童は、公費との併用により自己負担が発生しないことが多く、医療費への関心が薄い。新たに子供を持つ家庭に対し、ジェネリック医薬品や医療費に関する内容を含む総合的なパンフレットを送付し、ジェネリック医薬品の啓発や使用促進等を通じて医療費適正化に繋げる。	県内の人口比率が高く影響度の大きい高知市および高知県薬剤師会と連携し、高知市内の小中学校の全校生徒に対してジェネリック使用促進および公費併用による医療費の負担に関するチラシを配布し、医療費適正化広報を行った。	1,100 千円	715 千円
2	新規	【企画総務G】 見える化ツール※発送用封筒の作製  ※医療機関・薬局施設ごとにジェネリック医薬品使用割合などを「見える化」したツール	医療機関や調剤薬局へ「見える化ツール」を発送する際、目につきやすい専用封筒を使用することにより、重要な書類であると認識してもらうとともに、確実に目を通していただくことにより、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。	ジェネリック使用促進の広報イラストとメッセージ、キャッチフレーズも印刷した専用封筒を支部で作成し、見える化ツール送付時、医療機関・調剤薬局を訪問時等に使用した。 茶封筒ではない、目につきやすく重要な書類であることをアピールした。	88 千円	154 千円
3	継続	【企画総務G】 お薬手帳ホルダーの配付	「今日から薬はジェネリック（仮）」と記載したお薬手帳ホルダーを作成し、調剤薬局を通じて加入者に配付することで、ジェネリック医薬品の使用促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>調剤薬局10,560部、高知県薬剤師会20部、健康保険委員2,020部、研修会や事業所訪問等で500部配布を行った。</li> <li>上半期のジェネリック医薬品使用割合は78%台で伸び悩んでいたが、配布を行った令和5年12月の使用割合は79.7%となっており、目標としている80%達成が見える状態となった。</li> </ul>	1,617 千円	1,616 千円
I) 医療費適正化対策経費合計（項番1～3）					2,805 千円	2,485 千円

# 令和5年度 高知支部 医療費適正等予算

## Ⅱ) 広報・意見発信経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
4	継続	【企画総務G】 ジェネリック医薬品の使用促進に向けた広報	高知支部におけるジェネリック医薬品使用割合は75.8%（令和4年7月診療分）で全国46位と低迷しており、大きく巻き返しを図る必要がある。このため、テレビやラジオ、Web系など、あらゆるメディアを活用した広報を行うことにより、幅広い年齢層にジェネリック医薬品の正しい知識の啓発を行い、使用促進を図る。	<p>&lt;上手な医療のかかり方とあわせて展開&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェネリック医薬品利用促進・上手な医療のかかり方啓発の特設サイト・ミニ番組・TVCMを作成し、マルチメディア（TV放送、YouTube、WEB広告〔Google・Yahoo!・YouTube・Instagram・LINE・IASO・ジオターゲティング〕）で広報を展開した。また、納入告知同封チラシやメールマガジン、利用促進ポスターでも特設サイトへの誘導を行った。</li> <li>・特設サイト・ミニ番組・CM動画・WEB広告のバナーで支部独自のキャラクター「ジェネリックま」とキャッチフレーズ「ジェネリックエスト」を使用したことによるイメージの統一感と、高知県で知名度のあるタレントを起用したことによる親近感のある広報となったのではと考える。</li> <li>・WEB広告においては、GoogleやYahoo!、複数のSNS等で併せて発信することでの幅広い層へのアプローチと、ジオターゲティングを用いて医療従事者やアレルギー患者・子育て世代へのピンポイントでのアプローチができたのではと考える。</li> <li>・特設サイトのQRコードを掲載したジェネリック利用促進ポスターを作成して県内調剤薬局やドラッグストアに配布し、掲示協力依頼を行った。</li> </ul>	3,689 千円	4,279 千円
5	継続	【企画総務G】 上手な医療のかかり方に関する啓発	入院の一人当たり医療費が、全国第5位と全国平均を大きく上回っている。また、要治療者の医慮機関受診率も低い。そのため、早期受診・早期治療、かかりつけ医の活用など「上手な医療のかかり方」について、マスメディアを使用した周知広報により、加入者を含む県民に対し、知識の啓発をおこなう。		660 千円	

# 令和5年度 高知支部 医療費適正等予算

## Ⅱ) 広報・意見発信経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
6	継続	【企画総務G】 経済団体の会報誌を利用したインセンティブ制度の普及促進	インセンティブ制度に係る令和2年度の実績データにおいて、高知支部は全国47位と低迷しており、大きく巻き返しを図る必要がある。 そこで、事業主が目にする経済団体の会報誌にチラシを同封することで、健診や特定保健指導、要治療者の医療機関受診等、各評価指標の今後の取り組み強化に繋げる。	高知商工会議所会報 令和5年5月号 チラシ同封@44,000円×1回 インセンティブ制度周知広報用チラシの作成@91,300×1式	230 千円	135 千円
7	継続	【企画総務G】 納入告知書同封チラシの作成	加入事業所に対する健康保険事業の周知		1,761 千円	1,079 千円
Ⅱ) 広報・意見発信経費合計 (項番4~7)					6,340 千円	5,493 千円

# 令和5年度 高知支部 医療費適正等予算

## Ⅲ) 特別枠

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
8	新規	【企画総務G】 テレビのミニ番組を活用したジェネリック医薬品の使用促進広報	高知支部におけるジェネリック医薬品使用割合は75.8%（令和4年7月診療分）で全国46位と低迷しており、大きく巻き返しを図る必要がある。また、本部から提供された「重点支部分析報告書」によると、加入者拒否割合のマイナス影響度が大きい（▲1.8）。	支部独自のキャラクター「ジェネリックま」とキャッチフレーズ「ジェネリックエスト」を使用したジェネリック医薬品使用促進のミニ番組を作成し、TV放送（ゴールデン枠）での広報を実施した。実施期間中22回放送平均個人視聴率5.37%（最大11.9%）であった。また、放送後のミニ番組の動画を特設サイトでも公開し、継続した広報を実施。	2,530 千円	2,530 千円
Ⅲ) 特別枠の経費合計（項番8）					2,530 千円	2,530 千円

# 令和5年度 高知支部 保健事業予算

## IV) 健診経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
9	継続	【保健G】 事業者健診の結果データの取得（健診実施機関による委任状取得の委託費）	健診機関が事業主から委任（同意）状を取得し、健診データを健診機関が直接、協会けんぽへ提出する。	・委任状 3件取得	44 千円	7 千円
10	継続	【保健G】 事業者健診の結果データの取得（事業主等によるデータ作成に要する費用）	事業所・健診機関から事業者健診データを電子媒体で受けとり、その作成手数料を支払う。	・データ作成（支部払い）623件 （前年度比 +164件） ※今後、本部払い移行により減少予定	578 千円	240 千円
11	継続	【保健G】 事業者健診データ同意書及びデータ取得の外注	外注業者から勧奨を実施し、同意書及びデータ取得件数を増やす。	・同意書 38件取得 （前年度比 -48件） ・データ取得 5,177件 （前年度比 +1,704件） ・データ作成 5,177件 （前年度比 +1,666件） ※データ取得拡大により予算流用対応	6,204 千円	6,496 千円
12	継続	【保健G】 特定健診集団健診の実施（10月～3月開催）	高知県内に居住する未受診者を対象とし、特定健診と各種がん検診を同時に実施できる健診実施機関に委託して実施。 健診内容を充実させ、受診者に魅力を感じてもらうことで受診率向上を図る。	・6地区、延べ23日程実施 ・受診者数 計 1,603名 （前年度比 -3名） 【内訳】 10月 イオン高知（4日程） 12月 東部地区（3日間） 12月 南国市（1日程） 1月 幡多地区（2日程） 1月2月 高知市（7日程） 3月 高知市以外全県域（6日程）	3,580 千円	2,674 千円

# 令和5年度 高知支部 保健事業予算

## IV) 健診経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
13	継続	【保健G】 健診推進経費 (生活習慣病予防健診)	健診機関の目標を超過する受診者数に応じた報奨金	・受診増加件数 758件	3,801 千円	627 千円
14	継続	【保健G】 健診推進経費 (事業者健診)	事業者健診データを提供した件数に応じた報奨金	・取得総件数 438件 ※インセンティブ効果減により次年度は事業中止	528 千円	58 千円
15	継続	【保健G】 令和5年度健診年次案内用受診勧奨チラシ作製	支部独自の受診案内を作成し、年次案内に同封する。	・生活習慣病予防健診 14,000部 ・特定健診 26,000部 ・共同利用（保健指導用）86,800部	1,260 千円	786 千円
16	継続	【保健G】 圧着リーフレット等を用いた健診の受診勧奨	圧着リーフレットにより未受診者への受診勧奨を実施する。	12月 13,000件 2月 10,000件	1,452 千円	540 千円

# 令和5年度 高知支部 保健事業予算

## IV) 健診経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
17	新規	【保健G】 健診実施機関実地指導旅費	健診実施機関に対して実施する実地調査に係る経費	R5年度に予算化していなかったが、遠方の機関に実地調査を行ったため旅費を執行 ※予算流用対応	0円	139 千円
IV) 健診経費合計 (項番9~17)					17,447 千円	11,566 千円

# 令和5年度 高知支部 保健事業予算

## V) 保健指導経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
18	継続	【保健G】 中間評価時の血液検査費	特定保健指導利用者の生活習慣改善意識の維持向上を図るとともに、特定保健指導における検査結果の活用を目的として、血液検査等検査を希望する特定保健指導利用者に対して実施する。	・検査数 299件 (前年度比 +24)	1,320 千円	987 千円
19	継続	【保健G】 医師謝金	保健指導に対して医学的な意見・助言を行う医師に対して支払う。	・保健指導推進にあたって助言あり	26 千円	10 千円
20	継続	【保健G】 保健指導用パンフレット作成等経費	特定保健指導対象者等へ生活習慣改善の啓発を行う。	・リーフレット等を購入	200 千円	79 千円
21	継続	【保健G】 保健指導用事務用品費（測定用機器類等）	特定保健指導対象者等へ生活習慣改善の啓発を行う。	・保健指導に使用するカバン・封筒・チラシを購入	600 千円	258 千円
22	継続	【保健G】 保健指導用図書購入費	保健指導の効果的な実施方法等知識の習得を行う。	・ガイドラインや保健指導に関する書籍を購入	100 千円	16 千円

# 令和5年度 高知支部 保健事業予算

## V) 保健指導経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
23	継続	【保健G】 公民館等における特定保健指導	特定保健指導実施の際の会場賃借料	・特定保健指導の会場借用	60 千円	5 千円
24	継続	【保健G】 保健師募集広告経費（支部）	支部が行う契約保健師の求人については、各支部のホームページ等を通じて行っているが、求職者の情報取得の機会を拡充する。	未実施 ※保健師定数を満たしたため	50 千円	0円
25	継続	【保健G】 保健指導推進経費	特定保健指導実績に対する報奨金を支払う。	・対象保健指導件数 478件  ※契約保健指導実施機関のうち1機関が要件到達	238 千円	158 千円
26	継続	【保健G】 特定保健指導利用勧奨	被扶養者に、利用券送付1か月後に利用勧奨文書を送付する際に、特定保健指導利用を促すリーフレットを同封する。	・リーフレット作成数 500件	72 千円	21 千円
V) 保健指導経費合計（項番18～26）					2,666 千円	1,532 千円

# 令和5年度 高知支部 保健事業予算

## VI) 重症化予防事業経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
27	継続	【保健G】 未治療者受診勧奨	外部委託を活用した未治療者の受診勧奨	委託による文書勧奨 (9月～3月 一次・二次対象者) 3,044件	2,750 千円	1,988 千円
28	継続	【保健G】 糖尿病性腎症患者の重症化予防対策	高知県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに則って実施。治療中でコントロール不良者などに医療機関と連携した重症化予防事業を行う。	未実施 ※実施体制整わず	50 千円	0円
29	継続	【保健G】 健診当日の医療機関受診勧奨	生活習慣病予防健診受診者のうち、 血圧・血糖が受診勧奨域（一次勧奨 値以上）で、未治療の者に対し健診 当日に受診勧奨を行う。	11機関と契約し、718人に受診勧奨を 実施。	1,815 千円	1,185 千円
VI) 重症化予防事業経費合計（項番27～29）					4,615 千円	3,173 千円

# 令和5年度 高知支部 保健事業予算

## Ⅶ) コラボヘルス事業経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
30	継続	【企画総務G】 「高知家」健康企業宣言事業所の拡大	健康企業宣言を行っていない事業所に対し、パンフレット等を活用して周知広報を行い、事業へ参加する事業所の拡大を図る。	令和4年度に作成した基本モデルに沿った健康企業宣言に関するリーフレットを増刷し、基本モデルへの切替が終わっていない宣言事業所および宣言を行っていない加入事業所に対し周知を行った。 基本モデルに沿った宣言事業所数は、令和4年度101事業所であったが、令和5年度は362事業所に増加した。	286 千円	96 千円
31	継続	【企画総務G】 「職場の健康づくり応援研修会」開催	協会けんぽ高知支部と高知県、高知市が連携し、事業所の健診等の担当者に対して、健康づくりや健康保険制度等に関する研修会を開催する。	高知市は支部主催で開催し15名が参加。研修は、健康経営エキスパートアドバイザーに講演していただき、会場内に健康測定コーナーを設置。支部主催の研修会は高知県の中心部のみでの開催となることから、郡部の地域においては県福祉保健所と連携し、3地区100名の参加であった。	95 千円	19 千円
32	新規	【企画総務G】 糖化産物（AGEs）測定器の貸出	健康宣言事業所における健康づくりのサポートとして、糖化産物測定器の貸出を実施する。高知支部は男女ともに血糖値が高いことから、事業所に測定器を貸し出して職場で簡易に測定する機会を持つことで、職場内の健康づくりの意識向上や加入者自身が健康に興味を持つよう促す。	当初は事業所への貸出も視野に入れていたが、接続方法や使用方法に分かりにくい部分やスムーズにできなかった部分もあり、貸出にまでは至らなかった。主に研修会やイベントで使用し、100名程度の利用であった。	1,089 千円	908 千円
Ⅶ) コラボヘルス事業経費合計（項番30～32）					1,470 千円	1,023 千円

# 令和5年度 高知支部 保健事業予算

## Ⅷ) その他の経費

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
33	継続	【企画総務G】 健康づくりに関するメルマガでの情報発信	医師へ専門的見地に基づき医療・健康に関するコラムを執筆してもらい、メルマガを通して加入者へ情報を提供する。また支部ホームページにも、メルマガのバックナンバーとして掲載する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奇数月のメールマガジンに、「知って得するDr.川崎の気になる病気」としてコラムを掲載し、ホームページにはバックナンバーとして掲載した。</li> <li>・メールマガジンの年間新規登録は29件であり、令和6年3月の配信件数は1,210件であった。</li> </ul>	180 千円	180 千円
34	継続	【保健G】 保健事業計画に係るアドバイザー経費	保健事業の効果的な実施方法を検討・実行する上での有識アドバイスにかかる経費。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データヘルス計画や糖尿病発症予防等の実施にあたり有識者と意見交換を実施</li> </ul>	98 千円	49 千円
Ⅷ) その他の経費合計 (項番33~34)					278 千円	229 千円

# 令和5年度 高知支部 保健事業予算

## IX) 特別枠

項番	事業区分	事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
35	新規	【企画総務G】 健康課題の多い業種団体へのアプローチ	生活習慣改善や、要治療判定者等に対する受診勧奨を促すようなチラシを作成し、健康状態のよくない業種団体を中心に配布する。また「医療・保健業」を中心に、事業所訪問時、「女性の健康」に関する冊子を配付する。	分析の結果、「循環器系の疾患-高血圧性疾患」が1位、特に総合工事業が1人あたり医療費が他の業態や支部全体から大きく上回っていたため、パンフレットを購入し、令和6年3月下旬に1,181事業所へ発送。また、女性の健康を切り口にアプローチをかけていけるような冊子を購入。	480 千円	438 千円
36	継続	【企画総務G】 健康づくりに関するオンライン健康講座の開催	健康宣言事業所を対象に、 <u>事業所カルテや問診票で洗い出された事業所の健康課題を解決するため、事業所担当者、支部保健師、支部担当で協議の上、事業所の健康課題に適した講座を選定し、Web会議アプリ「Zoom」を使用したオンライン講座を実施する。</u>	令和5年11月より17事業所において22回実施。(事業所を訪問し、受講講座決定サポートによりおすすめ講座をご提案)  ・食事 12回 (54.5%) ・メンタルヘルス 8回 (36.4%) ・運動 2回 ( 9.1%) ・タバコ対策 0回	2,676 千円	1,162 千円
37	新規	【企画総務G】 各種メディアを活用した糖尿病発症予防に関する広報の展開	各種メディアを活用し、糖尿病発症予防に関する集中的な広報を展開。	・高知県と連携して若年層から体重を増加させない生活習慣（食生活・運動習慣）を定着させるための広報を展開（高知県との連名ポスターやSNS、大型ビジョン等を活用）	3,718 千円	3,718 千円
IX) 特別枠の経費合計 (項番35~37)					6,874 千円	5,318 千円